



～笑顔あふれる
育ちのひろば～
令和7(2025)年10月9日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

暑い夏からようやく過ごしやすい季節になってきました。明光保育園では「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念に掲げ、大切なお子さん一人ひとりの思いや声に寄り添った日々の保育を大切に、子どもを真ん中に置いた、子ども主体の保育と教育を一体的に実践しています。

保育では、一人ひとりの子どもが快適な環境の中で健康で安全に一人の人間として認められて過ごせることを、教育では、豊かな体験を通して、知識や技能の基礎、思考力や判断力、表現力などの基礎、学びに向かう力や人間性を育てていくことを目指してチームで取り組んでいます。

乳児（ひよこ組0歳児）には、愛情をしっかりと注いで、情緒的な絆を深め、感性育む保育を、3歳未満（赤組1歳児、桃組2歳児）の子どもたちには、生活を安定させ、自発的な気持ちを大切に愛情豊かに温かく見守る保育を、3歳以上（黄組3歳、青組4歳、白組5歳）の子どもたちには、基本的な生活習慣が身に付く中、集団的な遊びや協働的な活動をとおして、個々の成長と集団としての活動を充実させる保育を行ってきました。

教育では、主に3歳以上の子どもたち対象として、保育士等の専門性を活かして10の学習支援体制（①知識能力（知育）、②創作、造形、③言語表現、④語学（国際理解）、⑤運動能力、⑥音楽表現、⑦食育、⑧健康、⑨園芸・栽培、⑩安全教育）を設けて、一人ひとりの特性や能力を育み、健やかな成長と活動がより豊かに展開されるように支援を進めてきました。

保護者の方々には、織田幹雄スクエアにおいて、6月には、白組、桃組、赤組、ひよこ組を対象に、7月は青組、8月は黄組を対象に、運動遊びや体操のひろば、学習支援の参観とともに、クラス懇談を開催しました。子どもたちの日々の保育園での活動内容を実際に参観いただき、クラス懇談では貴重なご意見やご提案をいただき、又有意義な意見交換の場を設けることができました。

これからも、保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら「笑顔あふれる育ちのひろば」として「子どもたちの最善の利益」を保障するため、子どもたちの一人ひとりの個性を大切に、かけがえのない無限の可能性を秘めた大切な存在として尊重しながら、成長段階に応じて、主体的に様々な活動に取組み、自信や意欲を高め、未来に向かって健やかに成長していくことを全職員が全力で援していきます。



7月25日(金) 白組デイキャンプを開催しました！

白組になって最大のイベントです。
キャンプの目標を～思いやり、助け合い、行動する～として、グループで一人ひとりの思いや意見を実現するための方法を考え、挑戦、協力して、互いに思いやりながら、仲間の思いを一つ一つ形にしていきました。
チームのリーダーと名前を決め、クッキングはピザとアイスにしました。
今回のメインは、仮装パーティでした。どんなお化けや妖怪になるかをみんなで考え、衣装を作ることでメンバーの絆はとても強くなりました。

この経験を通して、創造し、考え、作り上げていく喜び、自ら進んで積極的に発言したり、行動する力、さらに仲間への思いやりの心が育まれ、挑戦したことへの自信や達成感、次への意欲へとつながっています。



～被爆80周年を迎えて～

今年は、広島に原子爆弾が投下されてから80年を迎えました。原子爆弾の被害は、あの日だけの惨劇にとどまらず、放射線による心的、外的被害は、今もなお、多くの人々を苦しめています。被爆者の高齢化により被爆体験を後世に引き継ぐことも、広島で暮らす私たちの役割と考え、平和の日のつどいを開催し、海田町戦没者・原爆死没者慰霊塔を訪れました。



視力が低下する子どもが増えています！！

近年、視力が低下する子どもが増えています。子どもの近視の増加は、デジタル機器の使用増加や外遊びの減少が影響していると考えられています。

～目の健康を守る生活習慣～

- ①よい姿勢を心がける。
- ②外遊びをする。
- ③規則正しい生活を身に付ける。
- ④寝る前は画面を見ない。

出典：少年新聞 ほけんニュース2025(令和7)年10月8日発行



～運動会に向けて～

テーマ：輝く 平和な世界へ はばたこう
10月11日（土）一貫田公園で幼児組の運動会を開催します。今年は、ハートの風船を使って平和を願います。入場行進やかっこ、リズム表現、器具運動、リレーなどの練習に取り組んでいます。
体を動かす楽しさを体験し、仲間との協力や一体感を感じながら、目標に向かって最後までやり遂げる姿を見守り、応援してください。
本番では優勝トロフィーの獲得に向けてチームで力を合わせて頑張ります！

読書週間

10月27日～11月9日は読書週間です。絵本は、文字を読む力や言葉の発達を促すだけでなく、感性や情緒、想像力も育てます。
また、読み手の温もりに触れ、心の安らぎも感じられます。
園では、言語支援をとおしてたくさんの絵本に出会えます。



日	月	火	水	木	金	土
5 休日保育	6 十五夜 運動会の練習 (一貫田公園)	7 運動会の練習 (一貫田公園)	8 運動会予行演習2 (一貫田公園)	9 運動会の練習 (一貫田公園)	10 運動会の練習 (一貫田公園)	11 運動会 (白・青・黄組) (一貫田公園)
12 休日保育	13 スポーツの日 休日保育	14 体操のひろば (青・黄組)	15	16 海田小、西小 就学時健診	17 秋の遠足 (青・黄組)	18
19 休日保育	20	21 体操のひろば (白・桃組)	22 避難訓練 (火災)	23 霜降 海田南小 就学時健診	24 秋の遠足 (白組)	25 🍡
26 休日保育	27 身体測定週間	28 体操のひろば (青・黄組) 幼児交通安全クラブ 音楽会 (白組)	29	30 歯科検診	31 10月の 誕生日会 ハロウィン	11月1日 霜月 November 11月は児童 虐待防止推進 月間 です！ 🧡
2 休日保育	3 文化の日 休日保育	4 文化の日の つどい 茶道のひろば (白組)	5 内科検診 白・桃・ひよこ 体操のひろば (白・桃組)	6 海田東小 就学時健診	7 立冬 誕生日会 いい歯の日の つどい	

幼児を対象とした10分野の学習支援

子どもたちの生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、豊かな経験をととして、知識や思考力、判断力、表現力などが育まれるように学習に重点を置いた支援を行っています。

この支援では、幼児クラス（白組：5歳児、青組：4歳児、黄組：3歳児）を対象として、①知識能力（知育）、②創作、造形、③言語表現、④語学（国際理解）、⑤運動能力、⑥音楽表現、⑦食育、⑧健康、⑨園芸・栽培、⑩安全教育の10分野に分け、子どもたちの主体的な遊びや学びをととして楽しみながら、一人ひとりの個性を伸ばしています。

《知識能力(知育)支援 原田園長代理》

子どもたちの知的能力を引き出し、高めるよう、図鑑や映像、知育玩具、園外活動などを活用して、小さな気付きや驚きを大切に自然現象や動植物、図形や数、言葉、文字など、一人ひとりの興味や関心が広がる支援をしています。

上期は、主にワークブックを活用して、読む・書く・見る・聴くに触れることで、「もっと知りたい」「やってみたい」と、自分自身の好きなことや得意、苦手なことに気付き、「できた」を重ねることで、次の達成への意欲を高めることにつなげています。

下期には、引き続き子どもたちの興味や関心を引き出しながら学びを深め、仲間と一緒に調べたり、見たり、聞いたり、考えたり、体験する面白さを感じながら、未知なものへの探求や理解が深まっていく支援をしていきます。



《音楽表現支援 担当:相原, 松本, 栗林》

音楽に合わせて身体を動かすことでリズム感や運動能力を養うリトミックを取り入れ楽しく音楽に触れる支援をしています。

音への興味を育むため、生活に身近な音に触れ、色々な楽器の音に触れ、たくさんの歌を歌ったり、踊ったり、楽器の演奏をととして、音楽に親しみながら、みんなと一緒に活動することで、音楽への楽しみが広がっています。

下期には、CDや映像などを活用して優れた音楽に触れる機会を増やすとともに、運動会や発表会での合唱や合奏の発表に向けて、発声や楽器の音色、リズムに注意しながら、みんなとの一体感の醸成に力を入れて支援を行います。

《創作・造形支援 石崎主任, 奥崎》

創意工夫する創造力や探求心を育てていくことを目標として、紙やクレパス、色鉛筆、絵の具、のり、粘土などの色々な素材に触れ、見たり思ったものを思い思いに作ったり、描くなど、子どもたちの興味・関心を引き出し、創意工夫を促し、次は何をしようかと創作意欲を高める支援を行っています。

「どうやってできるんだろう」という疑問が「やってみたい」という好奇心に変わり「できた」という達成感を得て「今度はこうやってみよう」という意欲が生まれ、保育士にあれも、これも「やってみたい」の要望が多くなってきました。

また、できた作品は、見本などとは大きく違って、とんがったり、広がったり、はみ出したりと思ってもよい創造力豊かな作品が多くなってきました。

これからは、作品展に向けた共同製作や発表会で使用する大道具、小道具の製作などで、子どもたちが主体的に、みんなとワクワクしながら、創意工夫を重ねることで、みんなで思い出深い作品が出来上がるよう支援していきます。



《運動能力支援 蒲生, 金井》

健康な心と身体を基礎を作るため、遊びの中に器具運動を取り入れたり、戸外に出で走ったり、ボールなどでしっかり体を動かす支援をしています。

これまで、チャレンジカードを作り、目標達成に向けて、跳び箱や鉄棒、平均台などの様々な運動器具にチャレンジし、できるまで繰り返し取り組む中での挑戦を応援し、「できた」を共に喜びことで挑戦意欲が高まって、一人ひとりの運動能力の向上につながってきています。

これからは、鬼ごっこやボール、フラフープなど、ルールのある集団遊びを取り入れて、規範性や集中力、自主性、チームワークを育み、みんなと健康に過ごせる心と体を作っていきます。

《言語表現支援 担当:今田, 森戸》

表現豊かに自分の気持ちを伝え、誰とも話し合いをととして協調、共感できるコミュニケーション能力を育むために、絵本や紙芝居、エプロンシアターなどを使って、物の名前や言葉の意味、使い方を知ったり、なぞなぞやしりとり、カルタをすることで、言葉による多様な表現が少しずつ身に付いてきています。

今後とも、一人ひとりの子どもたちの言葉に耳を傾け、対話と共感を重ねるとともに、絵本の感想を自分の言葉で伝え合い、自分とは違う思いを知ったり、みんなの思いに共感したり、互いに認め合う活動を支援していきます。

《健康・安全教育支援 倉留, 山崎》

命の大切さを第一に自分の身体や健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な知識や生活習慣を身に付け、日常生活での危険を知り、安全な行動ができることを目標にしています。

健康支援では、図鑑や絵本、エプロンシアターなどを使って、命の不思議、食事や睡眠、運動の大切さを伝えてきました。

安全支援では、毎月2回の多様な避難訓練を行っています。また、交通安全協会の交通安全教室に参加し、海田警察署や海田自動車学校のご指導の下、信号や横断歩道の正しい渡り方などを体験することで交通安全の意識を高め、園外保育での実践をととして、安全への意識と行動が身に付いてきています。

今後とも一人ひとりが命の大切さを理解し、病気の予防や事故にあわないよう、読み聞かせや訓練などをととして支援していきます。



《語学(国際理解)支援 乃美, 吉井》

多様な国際感覚の基礎を育むため、英語の歌を聞いたり、体を動かしたりしながら、海外の異なった言葉や文化、習慣に親しむことができるよう支援しています。

英語では「Good morning」から、数字や色、天気、動物などの身近な英語も覚えて、自然に口から出て来るようになっていきます。

さらに、金曜日には5歳児を対象にインド在住の元職員とオンラインで結んで歌ったり、踊ったりと会話と文化に親しんでいます。

ハロウィンやクリスマスなど海外からの文化や習慣、食べ物（給食）も取り入れながら、英語や異文化に楽しく触れ、国際理解の基礎を育てていきます。

《食育支援 濱田, 田川, 平野》

食を営む力を育むため、栄養士、調理員がクラスを回って食育活動を行っています。

食材では、実際に触れ、香りをかぎ、食べて、それらの違いや栄養、旬を知り、献立では、伝統料理や世界の料理について、国内の地域や季節、行事での料理を学び、国々で異なる食文化に触れることができました。

また、お互いが気持ちよく食事ができるように食事のマナーを学びつつ、手洗いなどの衛生習慣も身に付いてきました。

これからは、豊で楽しい食の体験を重ねながら、自分で作って食べる「クッキング」を重点として、生涯にわたる食を営む力が育まれるよう支援していきます。



《園芸・栽培支援 米田園長》

身近な自然に親しみ、五感を豊かにし、生命の不思議さを知って、感性が豊かに育まれるよう支援しています。

土作りから始め、季節ごとに花や野菜の種をまいたり、苗や球根を植え、水やりをしながら芽や茎、葉、つぼみの成長を見守り、色とりどりの花の開花を喜び、収穫して、給食やピザにして食べる経験をし、嫌いなトマトやピーマンなども食べられるようになってきました。

これからは、春の花や冬の野菜づくりに向けて、これまでの経験を活かして、もっと、大きな花を咲かせたり、おいしい白菜やキャベツを育てられるよう支援していきます。